

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	箱膳を活用した食育推進事業
事業主体 (連絡先)	信州ひらがな料理普及隊 長野市小柴見 58-34 長野県農村文化協会内
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,811,520 円 (うち支援金 : 785,000 円)

#### 事業内容

箱膳体験を10団体で80回1840人実施した(交付決定日8月22日以降は57回1383人実施:北信州食文化研究会は管外のため除く)食育基本セット10種類パンフができたことで学校教室での授業や公民館講座などの座学で理解を深めることができた。箱膳体験時に「小学生版・中学生版・高校一般版」3種ができたことで対象に合わせて食育を学習することができた。語り部のお話だけでは理解が難しかったことが今回の資料によって信州人らしい食習慣、食作法も学びやすくなった。



【 活動 】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

2月に県庁議会棟で行われた「信州の食を育む県民会議」で50セット用意し報告させていただいた。報告に対して議長から教育長、観光部長にも関係するので参加呼びかけがあった。長野県総合5ヶ年計画の基本方針である「学び」と「自治」の具体的な実践方法として信州らしいライフスタイルを提案することができた。箱膳体験が学校栄養教諭や公民館講座、県シニア大学、県女子短大、全国棚田サミット、善光寺100人箱膳など多様な場面で活発に行われたことでマスメディアにも多く取り上げられて新たな学習希望者がでてきている。三菱電機本社ユーザー向けホームページに取り上げたいと長野県鬼無里で箱膳体験。

- 【目標・ねらい】
- ①信州の食文化を発掘し伝承する
  - ②食と農の距離を縮める
  - ③食にまつわる作法を学ぶ
  - ④田んぼ・お米の大事を伝える

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度から農水省の食育事業の窓口が消費生活課に変わるため「食の安心・安全、食企業支援」から「地域に根ざした食育」が強化されると期待している。信州オリジナルの「箱膳を活用した食育」を全国に伝えていく。6月の全国食育推進大会でPRする。学校と公民館活動に力を入れていく。

※自己評価【 A 】

【理由】  
パンフレット類ができたことで活動に自信を持って取り組んでいる。行政や他県からも評価され食マナーもしっかりした信州っこを育てていきたい

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある